Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

PPS023-07 会場:303 時間:5 月 26 日 10:45-11:00

SGEPSS's activities toward planetary exploration
SGEPSS's activities toward planetary exploration

藤本 正樹 [1*], 寺田 直樹 [2], 三好 由純 [3]
Masaki Fujimoto[1*], Naoki Terada[2], Yoshizumi Miyoshi[3]

[1]JAXA 宇宙科学研究所, [2] 東北大学, [3] 名古屋大学太陽地球環境研究所
[1]ISAS, JAXA, [2]Tohoku University, [3]STEL, Nagoya University

宇宙プラズマ関連の現在の将来構想は、Geotail の成功経験、「のぞみ」での検討経験、BepiColombo での欧州との共同計画運営経験、の３つをベースに、積み上げられてきたものである。ミッション案構築の端緒においては、Geotail での成功で自身を得た若手による手弁当の勉強会がコアとなった。また、ある程度成熟した段階で ISAS の WG という形を得て活動をしてきている。その一方で、これらの構想も、着想時から５?１０年を経つつあり、本質的な部分の価値は失われていないものの、宇宙科学を取りまく状況の変化にも対応して、実装に関しては再検討を行うことも必要な段階に来ている。また、若手による新たな構想構築活動が活発化することも望まれている。

キーワード: 惑星探査, SGEPSS
Keywords: Planetary exploration, SGEPSS